

いいね！をつくるひとになる。
**大学生のためのスマートフォン×マーケティングコンテスト applim
決勝レセプションを11月3日に開催
賞金総額100万円は誰の手に？**

学生団体「applim」（東京大学、東京工業大学、横浜国立大学、千葉大学、慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、中央大学、青山学院大学のメンバーで構成。2010年4月初旬発足）は、2010年11月3日（水祝）に、「大学生のためのスマートフォン×マーケティングのコンテスト applim」決勝レセプションを汐留・電通ホールにて開催いたします。

決勝レセプション当日では、全応募132チーム約550名超の中から予選を経て決勝に進出した5チームが優勝賞金30万円の獲得を目指し、スマートフォンをプラットフォームとして、商材のプロモーションを行うアプリケーション企画のプレゼンテーションを行うこととなります。

また、当日は弊団体アドバイザーであるブレイクスルーパートナーズ株式会社赤羽氏、面白法人カヤック柳澤氏を始め、スマートフォン・デジタルマーケティングの第一線で活躍される決勝審査員7氏によるパネルディスカッションを行っていただきます。なお、当日の様子はUstream上で中継、アーカイブ予定です。

また、本大会はスマートフォン×マーケティングのテーマに賛同頂いた大手広告代理店、ソーシャルアプリ・スマートフォンアプリ関連企業様など13社の協賛企業様から支援を受け運営を行っております。決勝レセプションにおいては、全応募チームから選出される各協賛企業賞が発表されます。

applimは、「新しいマーケティング手法に触れ、自らマーケティング手法を作る」をコンセプトと掲げ、近年注目されるソーシャル性を利用したマーケティングプラン考えることで、次世代マーケティング、ひいては全く新しいビジネスプランの登場に対して食欲に挑戦可能になるようにという願いから生まれました。2010年7月に開催された第1回では「ソーシャルアプリ×マーケティング」をテーマとしてコンテストを開催いたしました。

私たちは、学生・社会人とらわれず参加される皆様にとって多くの「刺激」と「つながり」が手に入る場となるべく活動してまいります。

【決勝レセプション概要】

- 日程：2010年11月3日 水曜日(祝日) 14～19時(13時半 開場) 於：電通ホール
- コンテンツ：applimファイナリスト5チームのプレゼンテーション、決勝審査員によるパネルディスカッションなど
- タイムテーブル：
 - 13:30 開場
 - 14:00～14:05 開会挨拶(applim代表・久野)
 - 14:05～14:15 協賛企業様、メディアスポンサー様、決勝審査員のご紹介
 - 14:15～14:45 決勝審査員によるパネルディスカッション
 - 14:45～15:00 ファイナリスト紹介、プレゼンテーション順の抽選
 - 15:00～15:15 休憩
 - 15:15～16:45 ファイナリスト5チームによるプレゼンテーション
 - 16:45～16:50 休憩
 - 16:50～17:20 決勝審査員によるパネルディスカッション
 - 17:20～18:00 懇親会
 - 18:00～18:50 結果発表・表彰式
 - 18:50～18:55 閉会挨拶(applim代表・久野)
 - 18:55 閉場

この件に関するお問い合わせ：

主催：学生団体「applim」 担当：池田

TEL：080-6092-9188

E-mail：applim2010@gmail.com



【コンテスト概要】

■コンテスト名： 「大学生のためのスマートフォン×マーケティングコンテスト applim」

■applim 関連サイト

applim オフィシャルサイト <http://applim.jp>

applim オフィシャル Twitter アカウント @applim2010

■開催スケジュール：

9/26(日) キックオフイベント 於：ベルサール新宿

10/16(土) フィードバックイベント 於：ベルサール秋葉原

11/3(水・祝) 決勝レセプション 於：電通ホール

■協賛企業：

(株)アイ・エム・ジェイ、(株) エイチ・アイ・エス、(株)ADK インタラクティブ、(株)オプト、
コカ・コーラ パーク、(株)サイバーエージェント、(株)サイバード、サイボウズスタートアップス(株)、
(株)ディーツー コミュニケーションズ、(株)電通、(株)ドリコム、
(株)博報堂/博報堂 DY メディアパートナーズ、(株)リクルート (五十音順)

■メディアスポンサー：

ITpro、東京IT新聞、MarkeZine (五十音順)

■審査員：

ブレイクスルーパートナーズ株式会社	赤羽 雄二 氏
日本コカ・コーラ株式会社	江端 浩人 氏
株式会社電通	中村 洋基 氏
株式会社アイ・エム・ジェイ	久田 祐通 氏
株式会社博報堂	堀 宏史 氏
面白法人カヤック	柳澤 大輔 氏
株式会社 ADK インタラクティブ	横山 隆治 氏 (五十音順)

■第2回 applim 開催背景

・2010年7月に開催された第1回 applim を経て、未開拓なマーケティング分野を試行錯誤しながら学生が開拓していく様に、参加学生、審査員様、協賛企業様など多くの関係各者様からの支持を受け、第2回 applim 開催に至ります。

・第1回は会員数2,000万人を超える大手 SNS プラットフォームの開放により開始し拡大基調にあるソーシャルアプリ市場を題材としました。今回は国内販売台数400万台を超えた iPhone、国内にも各キャリア投入を開始した Android 端末など今後シェア拡大が確実視されつつあるスマートフォンアプリ市場を舞台として、前回同様ソーシャル性を利用したマーケティングプランを立案するコンテストを開催します。

・前回大会を終えて、「applim」という場を通して参加者同士のつながりが多く生まれました。広告、スマートフォン、マーケティングなどに関心の強い学生、第一線で働く企業関係者様の多くのつながりを得る場として、運営して参ります。

【決勝審査員略歴】

・赤羽 雄二氏（ブレイクスルーパートナーズ株式会社 マネージングディレクター）

1956年生まれ。1978年東京大学工学部卒、東京大学工学部卒業後、小松製作所にて超大型ダンプトラックの設計・開発を経てスタンフォード大学院に留学。1986年、マッキンゼーに入社、経営戦略の立案・実行支援、新組織の設計・導入、マーケティング強化、新事業立ち上げなど、多数のプロジェクトをリードし、クライアント企業の大規模な経営革新を支援した。2002年、創業前・創業当初からの支援を特徴とする「ブレイクスルーパートナーズ」を共同創業。豊富なコンサルティング経験とシリコンバレーのベンチャーキャピタルのノウハウを合わせ、「日本発の世界的ベンチャー」を見出すべく活躍中。

・江端 浩人氏（日本コカ・コーラ株式会社 インターラクティブマーケティング 統括部長）

上智大学経済学部卒業、スタンフォード大学 MBA を取得。伊藤忠商事株式会社宇宙情報部門企画にてマルチメディアの企画等を担当。1996年、デジプリ株式会社創業、Founder&CEO。経済産業省中小企業知的財産研究委員会委員歴任。2005年、日本コカ・コーラ株式会社入社。ニュープラットフォーム事業部（現インタラクティブマーケティング）創設、統括部長に就任。2009年コカ・コーラ パークの挑戦するエコシステムマーケティングを出版、2010年 Web 人大賞受賞。宣伝会議 Advertimes のコラム iTrend 連載中。ad:tech Tokyo アドバイザリーボード。ad:tech San Francisco で日本人初の海外 ad:tech で講演等、講演、パネル歴多数。 ブログ：<http://imarketer.jp> Twitter: [hirotoebata](#)

・中村 洋基氏（株式会社電通 アートディレクター／テクニカルディレクター）

1979年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、Web 技術と広告アイデアを組み合わせるテクニカルディレクターとして、2002年から（株）電通へ。主な仕事として、Honda 「Ole! Ole! CR-Z」、ユニクロ 「UNIQLO LUCKYSWITCH」、資生堂 「uno」、井上雄彦 「Slam Dunk 10 DAYS AFTER」「井上雄彦最後のマンガ展」などがある。150以上の国内外の広告賞の受賞歴があり、審査員歴も多い。

・久田 祐通氏（株式会社アイ・エム・ジェイ WI 第1事業本部 執行役員）

1996年セガ・エンタープライゼス（現セガ）に入社。家庭用ゲーム（ハード&ソフト）のマーケティングやオンラインゲームの立ち上げなどを歴任。2001年アイ・エム・ジェイ（IMJ）に入社。消費財メーカーなどのインタラクティブマーケティング支援業務はじめ実績多数。直近では発表後1ヶ月を待たずアプリ利用者100万人を突破した、「人生ゲーム for GREE」のプロデュースなどソーシャル領域にも注力している。

・堀 宏史氏 (株式会社博報堂 インタラクティブ・プロデューサー)

1969 年生まれ。1993 年慶應義塾大学経済学部卒業後、博報堂に入社。インタラクティブを起点とした、ココロを動かす統合マーケティングを得意とする。主な仕事として、SONY「Cam with me」KDDI「IS Parade」ドミノピザ「Domino'sApp」表参道樺会「akarium call project」などがある。カンヌ国際広告賞をはじめとして受賞歴多数。adtech Tokyo/Singapore でスピーカーもつとめる。

・柳澤 大輔氏 (面白法人カヤック 代表取締役)

1974 年香港生まれ。慶應義塾大学環境情報学部を卒業後、ソニー・ミュージックエンタテインメントを経て、1998 年、学生時代の友人と共に面白法人カヤックを設立。代表取締役を務める。「ART-Meter」「HOUSECO」「こえ部」「wonderfl build flashonline」など、ユーザー数千～数万人規模のインターネットサービスを幅広く展開する。ユニークな人事制度 (サイコロ給、スマイル給) や、ワークスタイル (旅する支社) など、制度面も現在実験中。近年では、ギャラリー「ART-Meter」、カフェ「DONBURI CAFE DINING bowls」などリアルショップを運営。2009 年、ビンボーゆずりを科学したプロダクト「YUREX」を開発。2010 東京インタラクティブ・アド・アワードで審査員をつとめ、自身もクリエイティブディレクターとして受賞。また、Yahoo! JAPAN インターネットクリエイティブアワード 2010 でも審査員をつとめる。著書に「アイデアは考えるな。」(日経 BP 社)、「面白法人カヤック会社案内」(プレジデント社)、「この「社則」、効果あり。」(祥伝社新書) がある。

・横山 隆治氏 (株式会社 ADK インタラクティブ 代表取締役社長)

デジタルアドバタイジングコンソーシアム株式会社 取締役

1982 年青山学院大学文学部英米学科卒、同年 (株) 旭通信社入社。ビール、飲料、化粧品、食品など大手クライアントをアカウントプランナーとして担当。96 年インターネットメディアレップデジタルアドバタイジングコンソーシアム (株) の設立を起案。同年同社代表取締役副社長に就任。08 年 (株) ADK インタラクティブ設立、同年代表取締役社長就任。09 年 (株) デジタルインテリジェンス設立同社取締役会長兼チーフコンサルタント就任。現在に至る。著書「インターネット広告革命」「究極のターゲティング」「次世代広告コミュニケーション」「トリプルメディアマーケティング」ほか。